議員研修会

「福山市のなかでの福山市民病院の役割」

講師　福山市民病院　院長　坂口（さかぐち）　孝作（こうさく）さん

2016年11月11日、議員研修会を開催し、議員、理事者など113名が参加しました。

講師に福山市民病院の坂口孝作院長を迎え、「福山市のなかでの福山市民病院の役割」と題して、総合的な地域医療の構築についての講義を受けました。

初めに、市民病院の歩みと発展を報告されました。

市民病院は、1962年、福山市国民健康保険大門病院として開院し、1970年、福山市市民病院に名称を変更。

1977年、蔵王に250床の病院として移転。その後、増床、救命救急センターの開設、高度先進医療機器の導入など充実を図り現在、病床数506床の地域中核総合病院として高度先進医療を促進しています。

今日、寿命が延び、全国で100歳を超える人口は6万5千人余となっていますが、寝たきりにならず、認知症を患わず、最後まで元気はつらつと生きることが望まれます。健康・安心・人との交流が大切であり、市民病院は、備後圏域コミュニティー創生の中心的役割を担うことが求められていると語られました。

今後、チーム医療の強化、専門知識・技能を持った医療人の育成医療連携ネットワークを構築し、科学的・論理的根拠に基づいた医療を公平に安全に効率的に実施しその経過・結果について公表する医療を行うことが必要とも提示されました。

また、新しい経口抗体ウイルス剤による療法で、C型肝炎の治療効果も上がっており、福山からC型肝炎をなくすためにも、まずC型肝炎ウイルスの検査を受けることも強調されました。

◇講師紹介
・1983年、岡山大学大学院医学研究科修了
・2007年、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科准教授
・2007年、福山市民病院がん診療統括部長
・2015年、福山市民病院院長（現在に至る）

政務活動費の収支報告書を公開します

2016年度（平成28年度）に各会派に交付された政務活動費について、収支報告書などの関係書類を6月1日（木）から公開します。

政務活動費が市政の調査研究活動等（研修、広報など）にどのように使われたかを、支出書や領収書、また市外視察などの報告書等で見ることができます。

これらの書類は、議会事務局に申請すれば、誰でもすぐに閲覧でき、有料でコピーもできます。

詳しくは、議会事務局庶務課にお問い合わせください。
（☎084-928-1123）

編集後記

風薫る5月、新緑が爽やかな季節となりました。3月定例会は25日間の会期で44議案が上程され、代表質問、一般質問には12人が立ちました。

議会だよりの編集に当たっては、多くの市民の皆さまに親しんで読んでいただけるよう、表紙をはじめ中身の構成にも、委員が視察等で学んだことを生かしながら取り組んでいます。この号より表紙の定例会月と発行回数の表記を変えています。

今後も市民の皆さまに手に取って読んでいただける紙面づくりに努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

（生田政代）

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

【ホームページアドレス】http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/gikai/
【メールアドレス】giji-chousa@city.fukuyama.hiroshima.jp

印刷／(株)小山オフセット印刷所 ☎084-922-0280